



予選レポート

2018/7/7 Rd-4 富士スピードウェイ

天候：曇り/雨 気温：22℃ 出走台数：19台

停滞する前線の影響で大気の状態は不安定。曇空に雨が強弱降ったり止んだりが続く。路面もドライからウェットと目まぐるしく変化し、タイヤセットアップとアタックタイミングが重要なカギに。

ノックアウト第1予選。予選スタート数分前にパラパラと小雨が降るが、路面はドライコンディション。朝のフリー走行から非常にいい仕上がりの両ドライバーは、まずミディアムタイヤで路面コンディションの確認を行い、野尻選手は15番手、松下選手は5番手タイムを記録。車体バランスに修正を行い、残り7分で2セット目のミディアムタイヤでアタックに向かった両ドライバーだったが、直後に雨が降り始める。野尻選手は濡れた路面にタイムアップならず、15位で予選を終える事に。松下選手は5番手で第2予選へ。続く第2予選、短く降った雨が上がり、濡れた路面が乾くと読んだチームは、松下選手にソフトタイヤを装着。読みは的中し、他車もドライタイヤに履き替える中、第1セクターでトップタイムを記録した松下選手だが、第2セクターで痛恨のスピン。8番手に7/100秒届かず、10位で予選を終える事となった。

5：野尻選手 予選 15位 (第1予選 15位) HONDA 勢 5位

金曜日の占有走行、今朝の公式走行と、その時々コンディションに合わせ、好感触をもって進めてきたのですが、予選のコンディションへのマッチングが上手く進まず、第1予選で終えることとなってしまいました。

レースに向けてどのような戦略が立てられるか、チームとよく相談して、最低でもポイントを持ち帰るべく、精一杯力を出し切ります。

6：松下選手 予選 10位 (第1予選 5位 第2予選 10位) HONDA 勢 3位

車本来の速さとしては、十分トップを狙えるものでした。第2予選の第1セクターも感触良く、しかしながら第2セクターでミスしてしまい、10番手で予選を終える事となってしまいました。

明日はまずスタートを決めてポイント圏内へ。更に表彰台争いが出来るようなレースペースで走ることが出来るよう、チームとともに戦略を立て、100%の力を出し切ります。